



深見 陶治/ Sueharu Fukami, 穹/*Kyu*, 2018, 青白磁/ Porcelain with Seihakuji glaze, H20 × W75 × D18 cm/
H7.8 × W29.5 × D7 in.



森 綾 / Aya Mori, *生ける / Put in a Base*, 2020, 陶 / Ceramic, H53.4 × W49 × D40.5 cm / H21 × W19.2 × D15.9 in.



尹 熙倉/ Heechang Yoon, Ibo River-5 #935, 2014, 焼成した揖保川の砂、陶粉、アクリル液、木製パネル/ Fired sand from Ibogawa River,-5, Ceramic Powder and Acrylic Medium on Panel, H83 × W60 × D3.6 cm/ H32.6 × W23.6 × D1.4 in.

オンライン特別企画展

『風薫る -芸術の旅-』

出展作家 (50 音順) :

川井雄仁 黒川徹 桑田卓郎 小島修 高橋奈己 中尾博恵 中島晴美 橋本満智子
深見陶冶 松谷文生 松村淳 水代達史 宮部友宏 森綾 尹熙倉

2020年5月2日(土) - 5月29日(金)

艸居アネックス

〒604-0924 京都市中京区一之船入町375 SSSビル3F

現代美術 艸居 ホームページにて公開

<http://gallery-sokyo.jp/exhibition/future/>

現代美術 艸居 〒605-0089 京都市東山区元町381-2
Sokyo Gallery 381-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan 605-0089
T: 075-746-4456 F: 075-746-4457 info@gallery-sokyo.jp www.gallery-sokyo.jp



プレスリリース

この度、現代美術 艸居ではオンライン展覧会『風薫る -芸術の旅-』を開催致します。本展では、“社会的隔離”により断たれた人々とのつながりを「芸術の旅」という新しい視点で皆様にご案内します。

本展は、新型コロナウイルスの世界的蔓延、広がる行動自粛ムードという社会的背景のもと企画されました。現在、多くの国々で政策として打ち出されている“社会的隔離”措置は、人々に“直接的なつながり”を断絶させています。これは人との直接的なつながりだけでなく、自然とのつながりにも距離を取らせるものです。この時期は五月晴れの空のもと、美しい花々が咲き、人々が活発に活動する季節はずです。従来通りであれば、新年度が始まって歓迎会などが開かれたり、ゴールデンウィークを利用して旅行に行く人も多かったことでしょう。それらはいららかな日差しのもと、出かけた先での時間を共にする人や自然との関係を楽しむ行為であったのかもしれませんが。

では、花をなぞり若葉の間を吹き抜ける爽やかな風を感じる方法は、今の私たちにはないのでしょうか。現在の類を見ない状況において、芸術がその情緒の補完、もしくは新しい旅のかたちを人々に示すことは出来ないのでしょうか。

これらの問いを検証するため、15人の作家たちの作品が一堂に会しました。様々な形態を持つ芸術作品が私たちを「芸術の旅」へいざないます。そこでは私たちは「芸術の旅行者」として、毎年違った風貌を見せる花々、延々と連なる山の稜線、自然界に存在する幾何学的な抽象美、動物と様々な無機物が融合する不思議な生き物たちに出会います。この体験を通して、私たちは過去の経験を再考し、物理的に美術が鑑賞ができない今、新しい内面的な方法で美を探求する機会になれば幸いです。人間の創造性は無限であり、独創的な生活を維持するには美術が重要であること、そのようなことを再認識させてくれる展覧会になることを願っております。

[作家紹介] (50音順)

川井 雄仁 (かわい・かずひと)

1984年茨城県笠間市生まれ。現在、茨城県笠間市にて制作。2007年ロンドン芸術大学チェルシーカレッジオブアート、ファインアート科卒業。2018年茨城県立笠間陶芸大学校研究科卒業。出展アートフェアに『アート京都』(2019年)、『Design Miami』(マイアミ、2019年)、『Art Basel』(マイアミ、2019年)。受賞歴は渋谷アワード2018入選(2018年)。主な収蔵先に高橋コレクションなど。

黒川 徹 (くろかわ・とおる)

1984年京都府生まれ。2007年筑波大学芸術専門学群美術主専攻彫塑コース卒業。2009年京都市立芸術大学美術研究科修士課程工芸専攻陶磁器修了。主な受賞歴は神戸ビエンナーレ准大賞(2007年)、現代陶芸ビエンナーレ長三大賞(2007年)、国際陶磁器フェスティバル美濃17審



査員特別賞（2017年）。主な収蔵先はロサンゼルスカウンティ美術館（ロサンゼルス、アメリカ）、新北市立鶯歌陶瓷博物館（新北、台湾）、アルゼンチン近代美術館日本の家（ブエノスアイレス、アルゼンチン）、エジプト文化庁（カイロ、エジプト）、チュニジア文化庁（チュニス、チュニジア）、京都市京セラ美術館（京都）、滋賀県立陶芸の森（滋賀）など。

桑田 卓郎（くわた・たくろう）

1981年広島県生まれ。2001年京都嵯峨芸術大学短期大学部美術学科陶芸コース卒業。2002年陶芸家、財満進氏に師事。2007年多治見市陶磁器意匠研究所修了。主な受賞歴は第6回 益子陶芸展濱田庄司賞（2006年）、第26回 朝日現代クラフト展奨励賞（2008年）、第17回テーブルウェア大賞・経済産業大臣賞（2009年）、ロエベ・クラフト・プライズ2018特別賞（2018年）などがある。主な収蔵先は金沢21世紀美術館（金沢）、スペンサー美術館（ローレンス、カンザス、アメリカ）、マルシアーノ・アート・ファンデーション（ロサンゼルス、アメリカ）、高橋コレクションなど。

小島 修（こじま・おさむ）

1973年福井県生まれ。1995年京都精華大学美術学部造形学科卒業。現在は三重県にて制作。主な受賞歴には第7回国際陶磁器展美濃2005陶芸部門銅賞（2005年、同2014年）、秀明文化財団第17回秀明文化基金賞（2006年）、台湾2012国際陶芸ビエンナーレ金賞（2012年、2016年同ビエンナーレにて大賞）。主な収蔵先は京都市京セラ美術館（京都）、秀明文化財団（滋賀）、滋賀県立陶芸の森（滋賀）、アーチブレイ財団（モンタナ、アメリカ）、台北縣立陶磁器博物館（台北、台湾）、景德鎮国際陶磁器博覧会実行委員会（景德鎮、中国）、サミュエルP.ハーン美術館（フロリダ、アメリカ）など。

高橋 奈己（たかはし・なみ）

1973年東京都生まれ。1997年武蔵野美術大学短期学部専攻科陶磁コース卒業。1997-99年ファエンツァ国立陶芸美術学校在籍（イタリア）。現在、東京都にて制作。主な受賞歴は日本伝統工芸展新人賞、女流陶芸展T氏賞（2016年）、日本陶芸展茨城県陶芸美術館賞（2017年）、現代茶陶展TOKI織部大賞（2018年）。主な収蔵先は東京国立近代美術館（東京）、茨城県陶芸美術館（茨城）など。

中尾 博恵（なかお・ひろえ）

1986年福岡県生まれ。2011年京都市立芸術大学卒業。現在も福岡県にて制作を行う。主な受賞歴は雪舟国際美術協会日本画選抜特別展準大賞（2014年）・大賞（2016年）、第5回続日本画新展推薦（2018年）。高野山恵光院（和歌山）に作品奉納（2018年）。

中島 晴美（なかしま・はるみ）



1950年岐阜県生まれ。1973年大阪芸術大学デザイン科陶芸専攻卒業。2003-14年愛知教育大学教授。2014-16年同大学特別教授。現在、国際陶芸アカデミー (I.A.C) 会員、多治見市陶磁器意匠研究所所長。主な受賞歴は毎日ID賞特選2席受賞(1980年)、国際陶磁器展美濃'95陶芸部門金賞受賞(1995年)など。主な収蔵先は東京国立近代美術館(東京)、多治見市美濃焼ミュージアム(多治見、岐阜)、Museum of Arts and Design(ニューヨーク、アメリカ)、金沢21世紀美術館(金沢)、ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館(ロンドン、イギリス)、ヘッチェンス陶磁器美術館(デュッセルドルフ、ドイツ)など多数。

橋本 満智子(はしもと・まちこ)

1986年京都府生まれ。2007年京都嵯峨芸術大学短期大学部美術学科卒業。2009年京都嵯峨芸術大学短期大学部専攻科美術専攻卒業。現在は京都市伏見に工房を構え、制作。主な受賞歴は第37回京都嵯峨芸術大学卒業制作展専攻科賞、第2回神戸ビエンナーレ現代陶芸展審査員特別賞(2009年)。主な収蔵先はロサンゼルスカウンティ美術館(ロサンゼルス、アメリカ)など。

深見 陶冶(ふかみ・すえはる)

1947年京都市生まれ。主な受賞歴は日本現代工芸美術展記念賞(1976年)、京展市長賞(1977年)、中日国際陶芸展大賞(1982年、1985年)、日展特選(1984年)、ファエンツァ国際陶芸展グランプリ(1985年、同1991年)、国際陶磁器トリエンナーレ展審査員賞(1995年)、日本陶磁協会賞金賞(2012年)ほか多数。主な収蔵先は東京国立近代美術館(東京)、国立国際美術館(大阪)、ヘッチェンス美術館(デュッセルドルフ、ドイツ)、ニューカッスルアートギャラリー(ニューカッスル、オーストラリア)、大英博物館(ロンドン、イギリス)、メトロポリタン美術館(ニューヨーク、アメリカ)、国立歴史博物館(台北、台湾)ほか多数。

松谷 文生(まつたに・ふみお)

1975年愛媛県生まれ。1996年嵯峨美術短期大学陶芸科卒業(現・京都嵯峨芸術大学)。主な受賞歴は神戸ビエンナーレ2009入選(2009年)、第28回田部美術館大賞「茶の湯の造形展大賞」展入選(2012、2013、2015同入選)、第43回日展初入選(2011年)、2012京都市工芸ビエンナーレ日本経済新聞社賞(2012年)、2013神戸ビエンナーレ現代陶芸コンペティション大賞(2013年)、第31回田部美術館大賞、「茶の湯の造形展大賞」展優秀賞(2014年)、第8回現代茶陶展奨励賞(2015年)など多数。

松村 淳(まつむら・じゅん)

1986年埼玉県生まれ。2010年University of South Alabama卒業。2015年多治見市陶磁器意匠研究所修了。2018年金沢卯辰山工芸工房修了。主な入賞歴は「マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今-伝統と革新」入選(2015年)、「第3回 金沢・世界工芸トリエンナーレ」入選(2016年)。2020年6月に兵庫県陶芸美術館にて開催の「No Man's Land -陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先-」に出展予定。パラミタ美術館陶芸大賞展(2021年)。



水代 達史 (みずしろ・さとし)

1982年千葉県生まれ。2011年東京藝術大学美術研究科修了。現在、金沢美術工芸大学工芸科講師。主な受賞歴には東京藝術大学原田賞、台東区長奨励賞（2009年）、Via art 2010審査委員池内務賞（2010年）など。

宮部 友宏 (みやべ・ともひろ)

1968年岐阜市生まれ。1988年国立高岡短期大学（現・富山大学）中退。1994年愛知県芸術大学美術学部デザイン・工芸科陶磁専攻卒業。主な受賞歴は国際陶磁器展美濃入選、長三賞陶芸展入選（1995年）、陶芸ビエンナーレ入選（1996年、1997年）、朝日陶芸展入選（1999年、2001年）、瀬戸・藤四郎トリエンナーレ入選（2013年）。

森 綾 (もり・あや)

1989年東京生まれ。2014年愛知教育大学大学院教育学研究科芸術教育専攻修了。愛知教育大学造形文化コース非常勤講師。2014年第10回国際陶磁器展美濃審査員特別賞（ニコル・クーリッジ・ルマニエール氏）受賞。主な収蔵先はポーラ美術館（神奈川）、ミネアポリス美術館（ミネアポリス、ミネソタ、アメリカ）など。

尹 熙倉 (ゆん・ひちゃん)

1963年兵庫県生まれ。1988年多摩美術大学大学院美術研究科修了。1995年文化庁芸術家在外研修制度にてイギリスに1年間滞在制作。2010年文化庁新進芸術家海外研修制度の特別研修により大英博物館にて調査・研究。現在は多摩美術大学美術学部工芸科教授。主な収蔵先は寺田コレクション（東京）、東京オペラシティアートギャラリー（東京）、茨城県陶芸美術館（茨城）、常滑市（愛知）。旅客船「guntû（ガンツウ）」、兵庫大学4号館（兵庫）、静岡県立静岡がんセンター（静岡）など。

是非、貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。

掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡くださいませ。

プレス担当：元林久美子

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2

motobayashi@gallery-sokyo.jp Tel: 075-746-4456 Fax: 075-746-4457